

第6章 計画の達成状況の評価

1. 評価指標と目標値

本計画の基本方針を実現するため、計画期間中に達成すべき評価指標及び目標値を以下のとおり設定します。

総合評価指標		
評価指標	現状値	目標値 (令和12年度)
公共交通の年間利用者数 (鉄道、路線バス、デマンドタクシー、タクシー、離島航路)	約3,509千人／年 (令和5年度)	現状維持
路線バスの年間利用者数 (デマンドタクシー含む)	約1,032千人／年 (令和6年度)	現状維持
路線バス収支率 (自主運行路線除く、デマンドタクシー含む)	50.0% (令和6年度)	現状維持
路線バスの利用者 1 人あたりの行政負担額 (自主運行路線除く、デマンドタクシー含む)	約95円 (令和6年度)	現状維持

個別評価指標		
基本方針1 運転士不足対策 【目標】運転士不足解消に向けた新規雇用者の確保		
評価指標	現状値	目標値 (令和12年度)
路線バス・タクシー運転士の充足率	路線バス : 90.6 % タクシー : 86.8 % (令和6年度)	100%

基本方針2 利用しやすい公共交通ネットワークの整備 【目標】利用者ニーズを踏まえた積極的な利用促進		
評価指標	現状値	目標値 (令和12年度)
利用促進に係る取組数	11項目 (令和6年度)	現状以上

基本方針3 待合環境の向上 【目標】誰もが利用しやすい待合環境の整備		
評価指標	現状値	目標値 (令和12年度)
公共交通 (路線バス・鉄道) の利便性に対する満足度	37.4% (令和4年度)	70%

基本方針4 交通弱者に対する交通手段の確保 【目標】事業者や地域等と連携した交通サービス体制の確保		
評価指標	現状値	目標値 (令和12年度)
高齢者の公共交通 (路線バス、デマンドタクシー、タクシー) の利便性に対する満足度	48.3% (令和6年度)	70%

(参考) 評価指標の算定方法及び目標値設定の考え方

総合評価指標		
評価指標	指標の算定方法	目標値設定の考え方
公共交通の年間利用者数（鉄道、路線バス、デマンドタクシー、タクシー、離島航路）	交通事業者による調査報告を基に市で取りまとめ 評価時期：毎年度	バス路線の再編や利用環境の向上、利用促進を図ることにより、現状の利用者数の維持を目標とします。
路線バスの年間利用者数（デマンドタクシー含む）	交通事業者への聞き取りと利用実績による把握 評価時期：毎年度	バス路線の再編や利用環境の向上、利用促進を図ることにより、現状の利用者数の維持を目標とします。
路線バス収支率（自主運行路線除く、デマンドタクシー含む）	交通事業者による収支報告等を基に市で取りまとめ 評価時期：毎年度	バス路線の再編や効率化、利用促進を図ることにより、現状の収支率の維持を目標とします。
路線バスの利用者1人あたりの行政負担額（自主運行路線除く、デマンドタクシー含む）	路線バスに対する市の補助金及びデマンドタクシー委託料の実績から算出 評価時期：毎年度	バス路線の再編や効率化、利用促進を図ることにより、現状の負担額の維持を目標とします。
個別評価指標		
評価指標	指標の算定方法	目標値設定の考え方
路線バス・タクシー運転士の充足率	交通事業者への聞き取り 評価時期：毎年度	働き方改革関連法の労働規制による不足分を事業者と連携して解消を目指し、運転士の充足率100%を目標とします。
利用促進に係る取組数	取組の実績 評価時期：毎年度	利用促進の取組は継続的に行うことが重要であり、現状以上の実績を目標とします。
公共交通（路線バス・鉄道）の利便性に対する満足度	市民アンケート調査の実施 評価時期：令和11～12年度	利用環境の向上により、公共交通（路線バス・鉄道）の利便性に対する満足度の割合が、市民の70%以上となることを目標とします。
高齢者の公共交通（路線バス、デマンドタクシー、タクシー）の利便性に対する満足度	高齢者アンケート調査の実施 評価時期：令和11～12年度	どこにいても移動できる交通サービス体制の確保により、公共交通（路線バス、デマンドタクシー、タクシー）の利便性に対する満足度の割合が、高齢者の70%以上となることを目標とします。

2. 計画の達成状況の評価

計画に掲げた目標の実現を図るため、防府市地域公共交通活性化協議会で事業の進捗状況の評価・検証します。

また、上位計画の改訂や社会情勢の変化、交通分野における技術革新など特段の配慮が生じた場合、必要に応じて計画の見直しを行います。

計画の推進にあたっては、PDCAサイクル（Plan（立案）、Do（実施）、Check（評価）、Act（改善））による継続的な改善を図ります。